



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月14日

上場会社名 株式会社ブシロード 上場取引所 東
 コード番号 7803 URL https://bushiroad.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 義賢
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 村岡 敏行 TEL 03 (4500) 4350
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止。代表取締役による
 四半期決算説明の動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績 (2020年8月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	27,154	7.7	423	△80.9	524	△76.2	△161	-
2020年7月期第3四半期	25,224	7.2	2,213	△11.5	2,204	△12.6	1,229	△15.2

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 △16百万円 (-%) 2020年7月期第3四半期 1,289百万円 (△20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	△9.98	-
2020年7月期第3四半期	76.58	72.43

(注) 1. 当社は、2021年6月期（当期）より決算期を7月31日から6月30日に変更し、当社グループの決算期を6月30日に統一しております。
 2. 2020年7月期第4四半期において行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い、2020年7月期第3四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表を遡及修正しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	39,609	13,955	33.5
2020年7月期	34,518	13,871	38.3

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 13,286百万円 2020年7月期 13,222百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年6月期	-	0.00	-	-	-
2021年6月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 当社は、2021年6月期（当期）より決算期を7月31日から6月30日に変更しております。このため、経過期間となる2021年6月期は、中間配当の基準日を1月31日、期末配当の基準日を6月30日としております。

3. 2021年6月期の連結業績予想 (2020年8月1日～2021年6月30日)

2021年6月期の連結業績予想につきましては、合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	16,448,400株	2020年7月期	16,311,400株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	180,526株	2020年7月期	180,526株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	16,169,588株	2020年7月期3Q	16,058,960株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算説明内容の入手方法）

2021年6月16日（水）15時30分以降、当社ウェブサイトにて動画配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10
(1株当たり情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、首都圏を中心とした「緊急事態宣言」および「まん延防止等重点措置」の発令・適用により、経済活動が引き続き制限されました。この間、当該地域での感染状況や医療提供体制は大きな改善を見せず、ワクチンについてもようやく医療従事者や高齢者への接種が始まるに留まるなど、先行きへの不透明感が拭えない状況が続きました。

このような環境の中、当社グループは、リアルイベントの開催直前で延期・中止の判断を迫られるなど対応に苦慮する面もありましたが、「IPディベロッパー」戦略のもと各事業部門や各IPプロジェクトにおいて活動を行ってまいりました。特に、コロナ禍においても復調・成長を見せるTCG（トレーディングカードゲーム）部門について、東・東南アジアを中心とした海外での売上拡大を念頭に置いた投資を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高27,154,039千円（前年同四半期比7.7%増）、営業利益423,619千円（前年同四半期比80.9%減）、経常利益524,219千円（前年同四半期比76.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失161,368千円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益1,229,821千円）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメント売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

1. デジタルIP事業

デジタルIP事業は、TCG（トレーディングカードゲーム）部門、MOG（モバイルオンラインゲーム）部門、MD（マーチャンダイジング）部門、メディア部門の4部門が属しております。

①TCG部門

主力TCGである「ヴァイスシュヴァルツ」では「アイドルマスター シャイニーカラーズ」「転生したらスライムだった件」「アサルトトリリィ BOUQUET」「ラブライブ！虹ヶ咲学園スクールアイドル同好会 feat. スクールアイドルフェスティバル ALL STARS」など人気IPの商品を多数発売し、引き続き好調に推移いたしました。また、「カードファイト!! ヴァンガード」は10周年を迎え新シリーズ「カードファイト!! ヴァンガード overDress」の商品を国内・海外で販売開始いたしました。

②MOG部門

「バンドリ！ ガールズバンドパーティ！」（自社IP・他社配信）では4周年を記念したゲーム内イベントを開催いたしました。また、「D4DJ Groovy Mix」（自社IP・自社配信）では大型アップデートの実施や「ホロライブプロダクション」や「五等分の花嫁」』とコラボをしたゲーム内イベントを開催いたしました。

③MD部門

「ガルパ4周年記念 BanG Dream!×アニメイト ワールドフェア2021」や「ブシロード大展示会 in Gallery AaMo」を開催いたしました。

④メディア部門

各電子書籍ストアで実施された販売促進キャンペーンが功を奏し、電子書籍の売上が伸長いたしました。また、2021年3月より配信・放送を開始したTVアニメ「カードファイト!! ヴァンガード overDress」に係る償却費が発生いたしました。

これらの結果、売上高20,299,570千円（前年同四半期比11.3%増）、セグメント利益376,857千円（前年同四半期比72.4%減）となりました。

2. ライブIP事業

ライブIP事業は、音楽部門、スポーツ部門の2部門が属しております。

①音楽部門

音楽・映像ソフトについては、5本のシングルCDと2本のアルバムおよびTVアニメ「アサルトリリィ BOUQUET」のBlu-ray 3本を含む映像商品を5本発売したことに加え、音楽配信の売上が伸長したことから、堅調に推移いたしました。ライブ・舞台については、「バンドリ！」の音楽ライブ（Roselia×RAISE A SUILEN合同ライブ「Rausch und/and Craziiness II」、Poppin'Party×Morfonica Friendship LIVE「Astral Harmony」）を横浜アリーナにて2日間開催しましたが、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき収容人数を限定した形での開催が続いております。

②スポーツ部門

各自治体からの要請に沿って十分な感染対策を講じながら、収容人数を限定する形で各団体にて興行を開催いたしました。新日本プロレスでは、全国各地でヘビー級選手によるシングルトーナメント戦を行う「NEW JAPAN CUP 2021」シリーズを含む48回の興行を開催いたしました。また、女子プロレスブランドのスターダムでは、日本武道館での初興行となる「レック Presents スターダム10周年記念～ひな祭り ALLSTAR DREAM CINDERELLA～」を含む24回の興行を開催いたしました。

これらの結果、売上高6,854,469千円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益36,946千円（前年同四半期比95.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は39,609,694千円となり、前連結会計年度末に比べ5,091,343千円増加致しました。これは主に現金及び預金が3,830,162千円、仕掛品が1,105,047千円それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は25,654,153千円となり、前連結会計年度末に比べ5,007,252千円増加致しました。これは主に転換社債型新株予約権付社債が5,000,000千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は13,955,540千円となり、前連結会計年度末に比べ84,091千円増加致しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が161,368千円減少した一方、新株予約権（ストック・オプション）の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ50,175千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、経済活動への影響が懸念されており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループにおきましては、グループ全体でのメディアミックスによる収益モデルを確立し、IPづくりのペースを上げ、ライブIP事業におけるオンラインライブの制作、デジタルIP事業における電子コミックの制作及びさらなるEC（オンラインでの販売）、アプリへの注力といったオフラインやアナログのよさを保ちつつDX（Digital transformation：デジタルトランスフォーメーション）をすすめてまいります。

ただし、2021年6月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大等によりプロレスの興行、音楽ライブ及びイベントの延期や中止、販売店休業等による消費への影響、コンテンツ制作やMDの生産販売スケジュールへの影響が想定され、現時点では合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,895,997	25,726,159
売掛金	4,511,162	4,095,677
商品及び製品	668,798	981,105
仕掛品	1,492,287	2,597,334
貯蔵品	76,097	77,061
その他	1,646,323	2,507,062
貸倒引当金	△31,165	△30,548
流動資産合計	30,259,501	35,953,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	467,948	434,874
工具、器具及び備品(純額)	106,597	90,279
車両運搬具(純額)	56,625	38,410
土地	352,281	316,281
リース資産(純額)	16,545	18,430
その他(純額)	72,352	57,687
有形固定資産合計	1,072,350	955,963
無形固定資産		
ソフトウェア	163,286	88,152
ソフトウェア仮勘定	36,220	15,265
のれん	206,257	332,136
その他	56,302	178,251
無形固定資産合計	462,066	613,806
投資その他の資産		
投資有価証券	1,623,600	1,138,342
長期貸付金	252,446	48,994
繰延税金資産	349,665	462,376
その他	523,912	460,031
貸倒引当金	△47,028	△36,998
投資その他の資産合計	2,702,596	2,072,746
固定資産合計	4,237,013	3,642,516
繰延資産		
株式交付費	21,835	13,325
繰延資産合計	21,835	13,325
資産合計	34,518,350	39,609,694

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,435,519	4,505,884
未払金	1,619,033	1,068,162
未払法人税等	689,403	222,922
1年内返済予定の長期借入金	3,757,191	3,971,185
賞与引当金	84,379	182,537
その他	593,907	775,253
流動負債合計	10,179,434	10,725,944
固定負債		
長期借入金	10,198,164	9,603,938
転換社債型新株予約権付社債	—	5,000,000
役員退職慰労引当金	44,910	56,860
退職給付に係る負債	59,875	73,485
繰延税金負債	96,741	157,672
その他	67,775	36,252
固定負債合計	10,467,466	14,928,208
負債合計	20,646,901	25,654,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,092,823	3,142,998
資本剰余金	3,029,593	3,079,768
利益剰余金	7,342,609	7,181,241
自己株式	△324,679	△324,679
株主資本合計	13,140,347	13,079,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,179	111,216
為替換算調整勘定	28,256	96,236
その他の包括利益累計額合計	82,435	207,452
非支配株主持分	648,665	668,758
純資産合計	13,871,448	13,955,540
負債純資産合計	34,518,350	39,609,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
売上高	25,224,257	27,154,039
売上原価	13,972,186	17,506,586
売上総利益	11,252,071	9,647,453
販売費及び一般管理費	9,038,233	9,223,834
営業利益	2,213,838	423,619
営業外収益		
受取利息及び配当金	43,614	17,530
持分法による投資利益	4,784	—
為替差益	—	109,174
助成金収入	44,747	113,579
その他	4,510	15,084
営業外収益合計	97,657	255,369
営業外費用		
支払利息	23,762	44,832
持分法による投資損失	—	83,455
株式交付費償却	8,832	8,509
社債発行費	—	14,816
為替差損	50,290	—
貸倒引当金繰入額	20,000	—
その他	3,957	3,154
営業外費用合計	106,843	154,768
経常利益	2,204,652	524,219
特別利益		
受取保険金	33,817	—
特別利益合計	33,817	—
特別損失		
減損損失	—	214,339
災害による損失	26,288	—
段階取得に係る差損	3,557	—
投資有価証券評価損	—	274,629
特別損失合計	29,845	488,968
税金等調整前四半期純利益	2,208,624	35,250
法人税等	894,595	176,526
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,314,028	△141,275
非支配株主に帰属する四半期純利益	84,207	20,093
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,229,821	△161,368

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,314,028	△141,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,748	57,036
為替換算調整勘定	△15,383	67,980
その他の包括利益合計	△24,131	125,016
四半期包括利益	1,289,896	△16,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,205,689	△36,351
非支配株主に係る四半期包括利益	84,207	20,093

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	デジタル IP事業	ライブIP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,241,660	6,982,597	25,224,257	—	25,224,257
セグメント間の内部売上高又は 振替高	279,237	310,276	589,513	△589,513	—
計	18,520,897	7,292,873	25,813,771	△589,513	25,224,257
セグメント利益	1,367,192	829,974	2,197,166	16,672	2,213,838

(注) 1. セグメント利益の調整額16,672千円は、たな卸資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年8月1日至2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	デジタル IP事業	ライブIP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,299,570	6,854,469	27,154,039	—	27,154,039
セグメント間の内部売上高又は 振替高	360,874	357,590	718,464	△718,464	—
計	20,660,444	7,212,059	27,872,504	△718,464	27,154,039
セグメント利益	376,857	36,946	413,803	9,816	423,619

(注) 1. セグメント利益の調整額9,816千円は、たな卸資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

2021年4月1日付で株式会社フロントウイングラボの株式を取得し新たに連結子会社化したことに伴い、デジタルIP事業セグメントにおいてのれんが334,075千円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

（企業結合に係る暫定的な会計処理の確定）

2020年2月1日（みなし取得日）に行われた株式会社ソプラティコとの企業結合について前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っておりましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されており、暫定的に算定されたのれんの金額207,799千円は会計処理の確定により16,500千円増加し、224,299千円となりました。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期損益計算書は、のれんの償却額が825千円増加し、営業利益、経常利益及び、税金等調整前四半期純利益はそれぞれ825千円減少しております。

（取得による企業結合）

当社は、2021年3月16日開催の取締役会において、株式会社フロントウイングラボの株式を取得する事を決議し、2021年4月1日付で同社株式を取得し、連結子会社化いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社フロントウイングラボ
事業の内容	アニメーションのプロデュース、ゲーム制作業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、良質なIP（IntellectualProperty：知的財産）を開発・取得・発展するIPディベロッパーとして「新時代のエンターテインメントを創出する」ことをミッションとし、既存タイトルのサービス向上に努める一方で、新規IPへの開発投資や他社の有力IPとの提携に積極的に取り組んでおります。一方で、株式会社フロントウイングラボはその前身となる株式会社フロントウイングも含めると20年以上にわたりIP開発に携わっており、「グリザイア」シリーズなどの有力なIPを保有するとともに、渡辺明夫氏をはじめとする多数の実力あるクリエイターと強固な信頼関係を築いております。また、近年はメディアミックスにおいても実績を積み上げており、自社IPだけではなく他社IPも含めたアニメのプロデュースを積極的に推進しております。当社と株式会社フロントウイングラボは、スマートフォンゲーム「グリザイアクロノスリベリオン」の配信等で協業していく中で、同社が当社グループに加わることは当社が掲げるIPディベロッパー戦略の良い補完関係になるとともに、両社の成長を加速させるものになると考え、本件株式取得について決定いたしました。

(3) 企業結合日

2021年4月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

取得直前に所有していた議決権比率	-%
企業結合日に取得した議決権比率	50.625%
取得後の議決権比率	50.625%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 四半期連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2021年4月1日から2021年4月30日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得した普通株式の対価	現金	101,250千円
取得原価		101,250千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー及びデューデリジェンス費用	3,996千円
---------------------	---------

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

334,075千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 (△)	76円58銭	△9円98銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)(千円)	1,229,821	△161,368
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 又は普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 損失(△)(千円)	1,229,821	△161,368
普通株式の期中平均株式数(株)	16,058,960	16,169,588
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	72円43銭	—
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額	—	—
普通株式増加数(株)	921,626	—
(うち新株予約権)	(921,626)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 り四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当第3四半期連結累計期間は潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。
2. 前連結会計年度において、企業結合による暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。